



平成 26 年 3 月 28 日

各 位

上場会社名 T O W A 株式会社
代 表 者 代表取締役社長 岡田 博和
コード番号 6315 (東証 1 部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 田村 吉住
TEL (075) 692 - 0251

T O W A グループ中期経営計画 (2014 年度～2016 年度) について

当社グループは、中期経営計画 (2014 年度～2016 年度) を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 「TOWA 10 年ビジョン」と「中期経営計画」について

当社は「ものづくり企業」であり、これからも「ものづくり企業」であります。当社が考える「ものづくり企業」の真^{まこと}の価値＝真^{しんか}価は、単に「ものづくり」の「技術」だけを指すものではありません。自らが事業活動を行い得る新たな市場を生み出す力、つまり「市場を創造する技術力」こそが「ものづくり企業」の「真価」であると考えております。

当社は今日まで、「市場を創造する技術力」を培い、実践し、信念と総和をもって事業活動を遂行してまいりました。その結果、半導体モールドィング事業において世界のリーディングカンパニーとなることができました。そして今、産業社会が当社に最も求めているものとは正に、今一度当社自らが「創造の力」によって「新たな市場」をこの世に生み出し、既存の高い市場シェアを持つ事業セグメントに「新たな市場」での事業活動を加え、更に大きく社会や産業の発展に貢献していくことであると認識しております。

以上のことから当社は、既存事業の伸張とコア技術の応用展開、そして「新たな市場」創造によるポートフォリオ変革等を目指す長期経営ビジョン「TOWA 10 年ビジョン」を掲げ、その具現化へのマイルストーンとなる諸施策・戦略等を中期 (3 年) 経営計画として取り纏めました。

2. 「TOWA 10 年ビジョン」の概略

「TOWA 10 年ビジョン」のテーマおよび主な目標は以下の通りであります。

テーマ : 「ものづくり企業の真価に挑む」

【主な目標】

- ◎既存事業の伸張・市場シェアアップとコア技術の応用展開
- ◎「新たな市場」創造による事業規模拡大とポートフォリオ変革
- ◎複数の世界 No. 1 事業を保有する
- ◎人材や事業活動・形態のさらなるグローバル化
- ◎TOWA ファンの倍増

3. 中期（3カ年）経営計画の概略

（1）基本方針

「市場を創造する」ものづくりの実践

（2）主な内容

「成長戦略」と「基盤強化」の2つのアプローチをベースに、各戦略や方策に取り組みます。主な内容は以下の通りであります。

《成長戦略》

- ◎コンプレッション技術によるモールドイング事業の伸張・他分野への展開
- ◎シンギュレーション事業の市場シェアアップ
- ◎「新たな市場」創造と事業化へのチャレンジ

《基盤強化》

- ◎営業活動網・活動形態の再構築
- ◎高効率生産体制の追求
- ◎グローバルリーダーの育成

4. 業績計画

（単位：億円）

項目		期別		
		平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
売上高		180	190	210
売上高内訳	半導体製造装置事業	155	160	165
	LED事業	11	12	15
	化成品事業	12	13	15
	「新たな市場」事業	2	5	15
営業利益		10	15	21
経常利益		9	14	20
当期純利益		8	13	14

※本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承願います。

以上

TOWAグループ 中期経営計画(2014-2016) (Summary)

平成26年3月28日
TOWA株式会社

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

1

現 状 認 識

マーケット 外部環境

- ・半導体製造装置 →市場成熟、価格競争の時代へ
- ・海外競合先の台頭
- ・業界再編、前・後工程の垣根は低く
- ・為替変動(円安)、エネルギー革命、世界経済構造の変化

内部環境

- ・ポートフォリオ集中、市況変動 →安定収益に課題
- ・大胆な事業展開や大きな先行投資が難しい
- ・人材育成、グローバルリーダーの必要性増
- ・グループ企業統治力強化、世代交代

成長の芽

- ・コンプレッションの市場浸透、他分野への展開可能性大
- ・最大のA/S市場を保有→ビジネス化による効果大
- ・「新たな市場」(既存半導体事業以外)の芽
- ・財務体質、投資余力は改善

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

2

「TOWA10年ビジョン」

テーマ

ものづくり企業の「真価に挑む」

主な目標

- ◎既存事業の伸張・市場シェアアップとコア技術の応用展開
- ◎「新たな市場」創造による事業規模拡大とポートフォリオ変革
- ◎複数の世界No.1事業を保有する
- ◎人材や事業活動・形態のさらなるグローバル化
- ◎TOWAファンの倍増

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

3

「TOWA10年ビジョン」

数値計画

単位:億円

	現在	3年後	6年後	10年後
売上高	170	210	300	500
既存半導体製造装置以外比率	16%	21%	33%	50%
営業利益率	5%	10%	12%	16%

事業規模拡大と
ポートフォリオ変革

収益性の安定・向上

※既存半導体製造装置以外=LED事業+化成品事業+「新たな市場」事業

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

4

「TOWA10年ビジョン」と 「中期経営計画」

「TOWA10年ビジョン」を具現化するためのマイルストーンとして、
3カ年の中期経営計画を策定

中期(3カ年)経営計画

テーマ

「市場を創造する」ものづくりの実践

成長戦略

中期(3カ年)経営計画

主な成長ドライバー

◎コンプレッション技術

- ・半導体モールドで圧倒的な“価値の優位性”を進める
- ・他分野への展開(車載品、電子部品)

◎シンギュレーション事業

- ・コンプレッション→モールド後のシンギュレーション市場拡大
- ・「切る」技術を展開(LED、周辺事業、その他へ展開)

◎新たな市場

- ・バンセラ(イノベーションによる市場創造)
- ・工具販売(消耗品ビジネス)
- ・TSS(サービスの事業化)
- ・その他既存事業以外の新たな市場を掘り出し

基盤強化

中期(3カ年)経営計画

《営業活動網・活動形態の再構築》

- ◎ 販社自活プロジェクト
- ◎ 本社・販社・現地代理店の業務・役割の見直し
- ◎ 営業活動における収益力の改善

《高効率生産体制の追求》

- ◎ 為替変動(円安)への対応
- ◎ 適地生産体制、各事業会社の活用とコスト追求
- ◎ 開発と生産の連携

《グローバルリーダーの育成》

- ◎ 世界を舞台に活躍するグローバルリーダーが必要
- ◎ 技術・製品知識、マーケティング力、マネージメント力、語学力
- ◎ 高度人材育成による開発力強化
- ◎ 「個」の能力向上によるグループガバナンスの強化

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

7

中期(3カ年)経営計画

中期(3カ年)数値計画

単位:億円

		平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
売上高		180	190	210
売上高 内訳	半導体製造装置事業	155	160	165
	半導体製造用等精密金型	59	60	62
	モールドイング装置	88	91	93
	シンギュレーション装置	8	9	10
	LED事業	11	12	15
化成事業	12	13	15	
「新たな市場」事業	2	5	15	
営業利益		10	15	21
経常利益		9	14	20
当期純利益		8	13	14

配当方針 安定・継続配当

Copyright 2014 TOWA CO.,LTD.
All Rights reserved

8